

## 12月23日 プラチナ未来人財育成塾 未来を見据え中学生が報告会を実施

未来のリーダーを育てる目的で昨年8月に開催された「プラチナ未来人財育成塾@オンライン」に参加した市の代表生徒8人が生涯学習センターで報告会を行いました。著名な講師の講演を聞き、それぞれの考えを発表しました。



テーマである「未来の社会と自分について考える」の通り、生徒たちは未来の社会に自身がどう関わっていくかスピーチしました

## 12月25日 フレッシュ熊本野球クラブ 感謝の気持ちを込めて清掃活動を実施

フレッシュ熊本野球クラブの中学生21人が菊池公園一帯と限府の商店街でごみ拾いを実施。毎年、きくち夏まつり後にごみ拾いを行っています。一昨年は夏まつりと昨年は夏まつりが中止となったため、年末に清掃活動を行っています。



キャプテンの大家優瞳さんは「感謝の気持ちを込めて、清掃しました」と話しました。同チームはやまびこグラウンドで週4回練習しています

## 1月5日 旭志をさらに盛り上げるために 旭志中が中学生リーダー研修会を実施

中学生リーダー研修会が旭志公民館で行われ、旭志中学校の生徒約30人が参加。SDGsやこれからの生き方について熊本市教育委員会や元菊池警察署長などの話を聞き、旭志の活性化を考えるワークショップを実施しました。



研修会は生徒自らが各種報道機関へ連絡を取り研修会をPR。観光や食などについて、幅広い視点からアイデアを出し合いました

## 12月22日 肥後もっこすのうまかもんグランプリ “うまかもん”に市内企業が複数入賞

県商工会連合会主催の「肥後もっこすのうまかもんグランプリ2021」で市内企業の商品が入賞し、斉藤製茶園と(有)中原松月堂はベストセレクションを獲得。本企画は地域資源を生かした逸品の発掘と販路開拓支援を目指しています。



④から中原松月堂店主の中原大松さん(北原)、県商工会連合会会長の笠愛一郎さん(生味)、斉藤製茶園園主の斉藤敏春さん(小原)

## 12月24日 菊池南中学校 校舎大規模改修に向けた要望書を提出

菊池南中学校が市教育委員会へ校舎の大規模改修に向けた要望書を提出。老朽化のため令和5年から改修工事を目指しています。より良い学校にするため、人権啓発に取り組む生徒会のハートフル委員会から提出されました。



生徒らは体の不自由な人が生活する上で不便に感じる部分などを提案しました

## 1月4日 第75回全日本総合バドミントン選手権 田中湧士さんが全日本総合で優勝

北原区出身の田中湧士さん(日本大学4年)が、昨年12月開催の「第75回全日本総合バドミントン選手権大会」の男子シングルスで優勝し、市役所を表敬訪問しました。湧士さんは決勝で逆転勝利。5年ぶりに大学生王者が誕生しました。



祖父の利秀さん(④から3番目)は、「孫の活躍を機に菊池のスポーツ界がさらに盛り上がってくれるとうれしい」と話しました

## 12月19日 五穀豊穡・無病息災・家内安全を祈願 稗方神楽が奉納されました

稗方菅原神社(市指定無形民俗文化財)で神楽を奉納。稗方神楽は五穀豊穡、無病息災、家内安全を祈願し、150年以上前から途絶えることなく伝承されています。現在は4・10月に菊池神社で、12月に稗方菅原神社で奉納されています。



今年は奉剣、御幣、地固の舞の3座が奉納され、拝殿内で観覧できるため、迫力のある勇壮な舞を至近距離で見ることができました

## 12月21日 行政サービスに役立てて 九州柳河精機(株)が発電機を寄贈

地域貢献の一環として九州柳河精機(株)(安田八洋代表取締役社長)が市に発電機を寄贈しました。寄贈された発電機は市ふるさと創生市民広場内に設置し、大切に活用していきます。



九州柳河精機(株)管理部の森浩高次長④と田尻雅浩部長(④から2番目)は「行政サービスの向上のために活用してほしい」と語りました

## 12月22日 倉敷紡績(株)熊本事業所 市内保育所にタオルハンカチを寄贈

森北工業団地内に工場を立地する倉敷紡績(株)熊本事業所が、自社技術を用いた抗菌・抗ウイルス加工タオルハンカチを市へ寄贈。地域貢献・地域活性化の一環として、市内保育所を代表し、菊池ひかり保育園で贈呈式を行いました。



菊池ひかり保育園の立山博美先生は「コロナで手洗いやうがいの回数を増やし、タオルも頻繁に換えるので非常にありがたい」と話しました

## 12月17日 寄付金を防災に役立てる 災害対応かまどベンチや防災備品を整備

宮カヲルさんからの寄附金で災害対応かまどベンチを市内6カ所に設置しました。ベンチ内にはかまどが内蔵され、災害時には炊き出しが可能です。避難所用パーテーションや積載用パレットなどの防災備品も整備しました。



ベンチは、市ふるさと創生市民広場、市総合体育館に各2基、道の駅七城メロンドーム、道の駅旭志、憩いの森公園、泗水孔子公園に各1基の計8基を設置しました

## 12月20日 宝くじ助成事業 立石区の公民館活動備品を整備

宝くじの受託事業収入を財源に行うコミュニティ助成事業により、立石区の公民館活動の備品が整備されました。夏祭りや集会などの行事におけるコミュニティ活動の活性化により、地域住民の融和が期待されます。



明瀬公一さん④、下川政幸区長の妻・珠美さん④、今坂英樹副区長④は、「地域をもっと活性化していきたい」と話しました

## 12月21日 第35回全国都道府県対抗中学バレー 菊池南中学校の松山侑史さんが出場

昨年12月開催の「JOCジュニアオリンピックカップ 第35回全国都道府県対抗中学バレーボール大会」に出場した菊池南中2年の松山侑史さんが、大会前に市役所を表敬訪問しました。県選抜メンバーとして本大会に挑みました。



母の理恵さん④と訪れた侑史さんは「チームに貢献できるよう、点を取りたい」と語りました。県選抜はベスト4の成績を収めました



**1月14日 熊本善意銀行ボランティア表彰  
紙芝居で菊池の昔話の伝承に貢献**

「紙芝居とわらべ唄の妻籠座」が(公財)熊本善意銀行による地域ボランティア表彰を受賞しました。同会は、市内の福祉施設や小中学校などで菊池に伝わる昔話を紙芝居にして口演し、地域の文化伝承に大きく貢献しています。



采村史博代表(前列⑥から2番目)は「活動を評価していただき、会員一同喜んでいきます。さらに活動の幅を広げていきたい」と話しました。

**1月19日 全日本女子ボクシング選手権ジュニア大会  
菊池高校の古賀このみさんが準優勝**

菊池高校3年の古賀このみさんが、1月開催の「全日本女子ボクシング選手権」のライトウエルター級で準優勝を獲得。古賀さんは「大会では普段以上の力を出すことができた。これからも競技を続けていきたい」と話しました。



古閑さんは中学までバレーボール部でしたが、高校2年時にボクシング部に入部。西垣健三郎コーチ⑤と渡邊昭夫部長⑥の指導の下、練習に励んできました。

**2月7日 全国優勝の功績と長年の指導をたたえて  
南中女子剣道部とコーチに特別表彰**

菊池南中学校女子剣道部と本田清澄コーチが市の特別表彰を受賞しました。女子剣道部は昨年の全国大会の団体で初優勝。本田コーチは昭和55年から本校剣道部の指導を行い、長年、地域剣道の発展に貢献してきました。



表彰状を持つ主将の荒木真歩さんと本田コーチは、「表彰をいただくことができ、うれしい。これからも頑張りたい」と話しました(関連3ページ)。

**1月14日 熊本県菊池エミュー観光牧場(株)  
九州エミュー座談会が開催されました**

熊本県菊池エミュー観光牧場(株)(株)山口油屋福太郎と日本食品(株)の合併会社)が昨年、市と締結した包括連携協定として、「九州エミュー座談会 in 菊池」を開催。専門家らと交え、エミュー飼育の現状や今後について意見交換をしました。



中央公民館で開催された座談会には菊池農業高校と菊池高校の生徒も参加。一般公開前の同牧場でエミューや数日前に生まれたひなの見学もしました。

**1月17日 厚生労働省医薬・生活衛生局長表彰  
フラワー薬局の宮本龍彦さんが受賞**

薬剤師の宮本龍彦さんが厚生労働省医薬・生活衛生局長表彰を受賞し、菊池都市薬剤師会の淀野孝之会長と共に、報告のため市役所を訪問。宮本さんは、長年、薬物乱用防止や青少年育成活動に積極的に携わってきました。



宮本さん⑤は、「今後も小中学生に薬物乱用防止教室を開催し、たびこの害や薬物乱用の怖さについて話していきたい」と語りました。

**1月28日 宝くじ助成事業  
東原区の公民館活動備品を整備**

宝くじの受託事業収入を財源に行うコミュニティ助成事業により、東原区の公民館活動の備品が整備されました。区民交流イベントにおけるコミュニティ活動や、地域住民同士の交流の活性化が期待されます。



藤本正博区長⑤と古住秀人副区長⑥は、「子どもからお年寄りまで快適に利用できる環境作りに役立てたい」と話しました。

**1月7日 熊本酪農業協同組合  
消費拡大のため牛乳を市へ贈呈**

熊本酪農業協同組合が、新型コロナウイルス感染拡大の影響により落ち込んだ牛乳の消費拡大に向けた取り組みの一環として、牛乳パック(250mL)1,200個を市へ贈呈しました。牛乳は市内で開催されたイベントで配布しました。



熊本酪農業協同組合の衛藤彰一組合長⑤は、「牛乳を多くの人に飲んでほしい」と話しました。

**1月10日 旧龍門小学校内アーティストスタジオ  
アーティストの作品や制作工程を公開**

市龍門地域活性化支援センターで、第2回オープンスタジオを開催。同センターは、平成24年度閉校の旧龍門小学校をアーティストの活動拠点として利用し、今回、入居アーティストの制作する作品の紹介や活動報告を行いました。



当日は市内外から約90人が来場し、アーティストと会話を楽しみながら、それぞれの作品の世界観を体感していました。

**1月12日 学校教育向上のために  
教員を対象に授業改革研修会を実施**

全国各地の授業改善・学力向上の指導にあたる西留安雄さんを講師に招き、授業改革研修会を実施。市内小中学校の研究主任教師を対象に行い、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改革について学びました。



西留さんは、実際に市内2校の授業を見て指導助言も行いました。研修では教師の皆さんからの活発な意見が飛び交いました。

**1月5日 300年以上前から伝わる伝統行事  
鬼神が登場する穴川夜神楽が奉納**

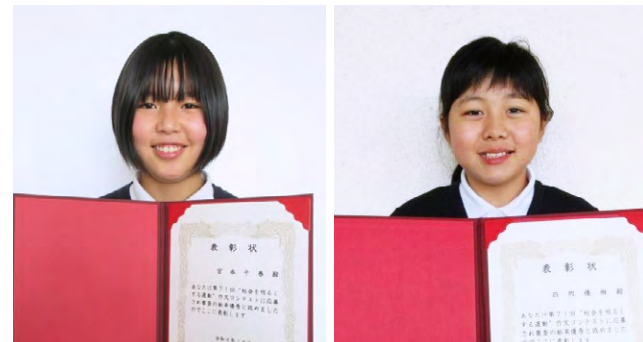
穴川の菅原神社で、穴川夜神楽(市指定無形民俗文化財)が行われました。穴川夜神楽保存会は約20人が在籍。最年少は高校2年生で、懸命に練習に励んできました。お祓いや玉串奉納の後、10座全ての舞が無事に奉納されました。



神楽の最後、「鬼神の舞」では、観客が竹の先の御幣を無病息災のお守りにするために懸命に奪い合っていました。

**1月7日 “社会を明るくする運動”作文コンテスト  
市内の小学生2人が受賞**

「第71回“社会を明るくする運動”熊本県作文コンテスト」の表彰式が熊本市で開催されました。市内からは泗水東小学校6年の宮本千春さんと、菊之池小学校6年の西岡優雅さんが受賞しました。



宮本さん⑤は熊本県推進委員会委員長(県知事)表彰、西岡さん⑥は熊本保護観察所長賞表彰に選ばれました。

**1月11日 開館から4年が経過  
中央図書館の来館者が50万人を突破**

平成29年11月25日に開館した中央図書館の来館者が50万人を突破。吉田美和さん、成吾さん親子(東原団地)に50万人目の来館者として、認定書と旭志牛が記念品として授与されました。



吉田さん親子は「いつも図書館で楽しいひと時を親子で過ごさせてもらい、良い記念になった」と笑顔で話しました。